

## 実験概要

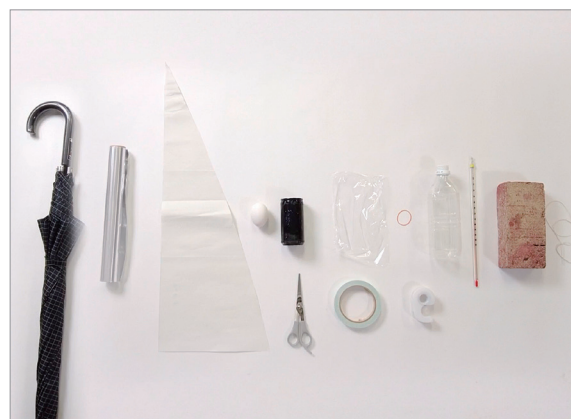
傘にアルミ箔を貼り、集めた太陽熱で生卵を温める。

## 実験の目的

太陽熱を利用してゆで卵をつくろう。

## 実験材料

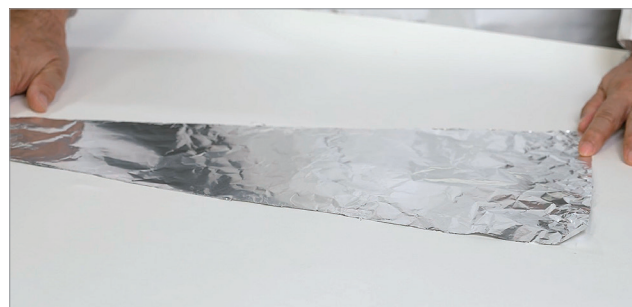
- 傘
- アルミ箔
- 型紙
- 生卵
- 缶
- ラップ
- 輪ゴム
- ペットボトル
- 温度計
- 重し
- ひも
- ハサミ
- 両面テープ
- セロハンテープ



今回の実験では、温度を確認するために温度計を使ったが、なくてもよい。

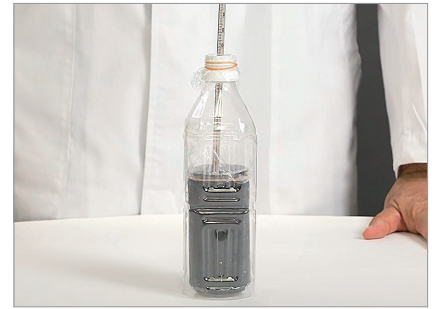
## 実験準備

### ①集光装置の製作



アルミ箔は、光沢のある面が見えるように貼る。

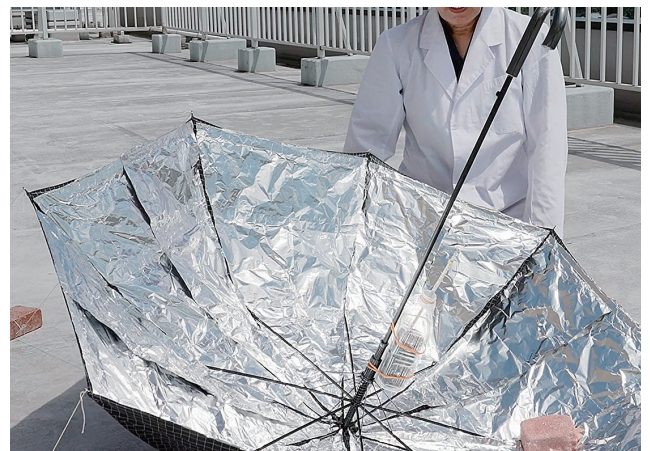
## ②卵入れの製作



缶やペットボトルにラップをつけるときには、空気抜きの穴をあけておく。

## 実験手順

### ①実験装置の設置



### ②卵の確認



太陽やアルミ箔を直接見ないようにし、離れた日陰で観察する。



お湯や傘でのやけどに注意する。

## 実験結果と実験からわかってほしいこと

- 太陽の熱で温められた卵はゆで卵になった。
- 太陽の熱を利用すれば、調理をすることもできる。

## 発展

- ★ 太陽熱を利用し、生活の中に生かしている例を見つけよう。
- ★ この実験では、太陽熱を効率よく利用するために、缶を黒く塗った。色と暖まり方の関係について実験してみることも面白い。